

評価結果概要版



令和5年度

通所介護【デイサービス】

利用者調査とサービス項目を中心とした評価手法

法人名称	社会福祉法人常盤会
事業所名称	老人デイサービスセンターときわぎ国領
事業所所在地	東京都調布市国領町8丁目2番地65
事業所電話番号	050-5540-0862

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）	1) ゆとりと安心を笑顔で 2) 子どもからお年寄りまで多世代交流により、敬老の心、人を愛する心をはぐくむ 3) 住み慣れた地域で暮らし続けることが出来るような個別ケアの実施 4) 専門性と知識のある人材の確保・育成 5) ご利用者・ご家族の満足度向上への追求

全体の評価講評

特に良いと思う点

・各媒体に、通所介護の説明や利用までの流れ、見学の案内などを記載し、はじめて利用する利用者にも分かりやすくしている

事業所の情報が掲載されているホームページやパンフレットには、法人の概要や理念をはじめ、基本情報や送迎、入浴、活動、昼食などのサービス内容を写真を織り交ぜながら1日の流れを説明している。そのほかにも通所介護とは何かという説明や利用までの流れのチャート、見学の案内なども記載し、はじめて介護保険や通所介護を利用する利用者にも分かりやすい内容になっている。また、パンフレットは法人施設パンフレットとは別に通所介護事業所独自のものを用意し、詳細な内容が分かるようにしている。

・ときわぎ国領ならではの活動が徐々に再開され、利用者が意欲をもって通所できるようなサービス提供に繋がっている

選択できる多種多様な活動と、併設されている保育園との交流が事業所の大きな特徴となっている。感染症に注意しながら園児との窓越しの交流を行ってきていたが、今年度は利用者と園児の距離を離しつつではあるが、直接対面での交流も再開できている。法人理念である多世代交流の実現が、利用者の通所の楽しみや生活の刺激にも繋がり、利用者の意欲向上となっていると思われる。地域のボランティアが行う演奏会も開催できるようになり、利用者アンケートからも音楽の生演奏に関する意見が見受けられ、好評を得ていることがうかがえる。

・

さらなる改善が望まれる点

・利用者支援に関するケース記録などで通所介護計画書に沿った支援の確認をしているが、ICT化を目指して効率化することを課題としている

利用者支援に関するバイタル・排泄・入浴・喫食・水分量・レクリエーション活動の参加・利用者の様子などの内容は、ケース記録や連絡ノートに記載をしている。ケース記録は個別ファイルにファイリングをし、職員室のキャビネットに保管して利用者に携わる職員がいつでも閲覧することができるようになっており、ケース記録や日誌、モニタリングなどから通所介護計画書に沿った支援が行えているかの確認ができるようになっている。ただ、事業所としてはICT化を目指しており、タブレットなどの活用によって業務の効率化を課題として挙げている。

・活動の合間などに生じる空き時間を、利用者自ら有効活用できるようなサービスの提案・検討及び工夫が望まれる

午前中の集団体操や入浴の合間などの空き時間でどうしても利用者の手持無沙汰の時間が見受けられる。社交的な利用者は比較的に同席の利用者同士の会話や作品作りなどで自発的に楽しむことができているようではあるが、あまり積極的に活動や会話に参加しない利用者は自席で座っていることが多い印象を受けた。利用者アンケートには、「体操や運動がもう少し多くなると良い」という機能訓練の意欲が高い意見が見受けられていることから、空いた時間に自席で行えるセルフトレーニングなどを提供できるような工夫に期待したい。

・

事業者が特に力を入れている取り組み

・初回利用の様子を職員間で共有化を図り、次回利用時に活かしている

初回利用の利用者の来所時にはサービス担当者会議に出席した顔馴染みの相談員が出迎えを行うようにし、事業所の使い勝手や1日の流れなどを説明して利用者の不安軽減に努めている。また、基本、自由な席次となっているが、アセスメントでの聞き取りで知り得た利用者の情報を活用して、同郷や趣味の合いそうな利用者と近い席次にしたり、興味のありそうなレクリエーション活動への参加を無理強いしない程度で促している。初回利用終了後の利用者の様子は家族や担当ケアマネジャーに報告し、職員間でも共有化して、次回利用時に活かしている。

・季節に合わせた健康的な過ごし方のポイントを、事業所全体で利用者へ発信している

看護師が中心となって利用者の直接的な健康管理を行いつつ、生活相談員や介護職員、訓練士など多職種も交えて事業所全体で健康に関する情報発信の取り組みを行っている。年に2回の頻度で午後の活動時間に看護師の健康講座を開き、感染症・熱中症・ヒートショック・食中毒などの正しい知識・留意点を図や資料を用いて利用者へ解説を行っている。看護師からの健康に関する注意喚起は法人の広報誌にも掲載されており、利用者のみならず利用者家族への情報発信にも繋がっている。

利用者調査結果

有効回答者数/利用者総数

46/98

■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ ■ 無回答・非該当

1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	80.0%	13.0%		
	いいえ：2.0% 無回答・非該当：4.0%			
2. 日常生活に必要な介助を受けているか	82.0%	6.0%	8.0%	
	いいえ：2.0%			
3. 利用中に興味・関心が持てる行事や活動があるか	67.0%	19.0%	8.0%	
	いいえ：4.0%			
4. 個別の計画に基づいた事業所での活動・機能訓練（体操や運動など）は、在宅生活の継続に役立つか	82.0%	10.0%		
	いいえ：4.0% 無回答・非該当：2.0%			
5. 職員から適切な情報提供・アドバイスを受けているか	78.0%	15.0%	6.0%	
	いいえ：0.0%			
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	91.0%	6.0%		
	どちらともいえない：2.0% いいえ：0.0%			
7. 職員の接遇・態度は適切か	86.0%	6.0%		
	いいえ：2.0% 無回答・非該当：4.0%			
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	80.0%	6.0%	8.0%	
	いいえ：4.0%			
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	60.0%	13.0%	23.0%	
	いいえ：2.0%			
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	91.0%	6.0%		
	どちらともいえない：2.0% いいえ：0.0%			
11. 利用者のプライバシーは守られているか	80.0%	6.0%	13.0%	
	いいえ：0.0%			
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	78.0%	8.0%	13.0%	
	いいえ：0.0%			
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	71.0%	19.0%	8.0%	
	いいえ：0.0%			
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	78.0%	6.0%	15.0%	
	いいえ：0.0%			
15. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	50.0%	19.0%	26.0%	
	いいえ：4.0%			